

広報モニターの声

モニターのみなさんから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

142号（前号）誌面に対するご意見・ご感想

○分かりやすく編集されていると思います。特に一般質問のまとめ方は素晴らしいし、理解もできます。

○誌面の構成変更により、議員さん一人ひとりがどのような課題を持って取り組まれているか、よくわかるようになりました。村政の幅広い分野への対応により、豊かな生活が支えられているのだと伝わってきます。

○良くまとめてあります。字も大きく見やすいです。頑張ってください。

○先生の表情を拝見することができ、またプロフィールも読ませていただきありがとうございます。これぞ「きらきら村の仲間たち」です。

○今回は一般質問をあらためてしっかり読むことができました。新しくなりましたね。村長さんの受け答えを読み、現状がわかります。質問答弁の応酬で考えが深まるのですね。

○本当に読みやすくなりました。

○表紙の雰囲気明るいと、つい手に取って開いてみたくなる感じがします。一般質問のページは写真やイラストを多用することにより、読みやすさがアップしたと思います。一方で情報量を減らすことには賛否があるとは思いますが、是非はともかく、傾向的に若い世代の方々の活字離れが進み（新聞購読者の減少なども）、字数が多いだけで敬遠されてしまうことを考慮すれば、やむを得ないことかなと…。まずは最低必要な情報を伝えることは大切だと、編集委員の皆さんのご苦勞を推察します。

○写真や配色によってとても親しみやすい表紙になりました。きらきら村の仲間たちが表紙になっているのも良いですね。特に良かったのは、3ページ目で「事業内容」を写真やイラスト付きで説明し、聞き慣れない単語については「議会のことば」で補足してくれていたことです。毎回新しい「議会のことば」を知ることができたら嬉しいです。

○広報委員のみなさん、お疲れ様です。トータルとして「りっぱな議会だより」だと思います。あまり目先を変えずに続けることが大切だと思います。

議会に対するご意見

○議員のなり手不足が指摘される中、今回の統一地方選では、上伊那各地の自治体で多彩な新人議員が誕生、議会の雰囲気が変わりつつある印象があります。新鮮な感性を大事に、一方で議会の中で積み重ねられてきた経験等も尊重しつつ多様性が求められる社会にふさわしい、より良い議会が形作られていくことを期待しています。

○どの程度、議会だよりを読んでいるのかという、村民へのアンケートが実施されると、誌面評価につながると思います。

○地球温暖化対策実行計画策定のための特別委員会設置については、設置するのは当然としてその「構成メンバーの質」が問われるべきです。日本は環境意識が低く知識も乏しい人が多いため、専門性に優れた人材を選出してほしいです。

○市民農園研究をしていますが、ふれあい農園の「1年契約で区画の場所も年々変わる」というシステムは県内で数例のみの珍しいタイプです。このシステムでは継続した土作りができず、農法をこだわりたい人（ex. 自然栽培、有機栽培）は利用しづらいです。移住者の多い南箕輪村では「農地の家庭菜園的利用」を促進することにより地域内自給を高めることができるため、新規開設もご検討下さい。

○村報に記載されてはいるのですが……やはり予算あつての計画。村民（私）は「お任せします」という姿勢で反省しています。

○議員さんにはさまざまなビジョンに対して、メリハリあるチェックに期待するばかりです。

○区の業務は地区により形が異なると思いますので、地域・村民の代表の議員さんに期待します。

○請願・陳情について、誰もが負担が増えたり将来への不安が増えるのは反対ということはわかりますが、政策を現実に実行する時に、良い事ばかり言ってもしかたがないと思います。まずは一步でも住民が良い生活ができるよう、議員の皆さんが知恵をしぼってほしいです。